

## 「施策」総括票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり	
施策	②伝統行事の伝承・復元		45頁
対応する 主な課題	○各地域、各島々に伝わる祭事等の伝統行事をはじめ伝統的な生活文化が徐々に失われつつあり、沖縄文化が体感できる環境は徐々に薄れてきている。特に、離島や過疎地域においては、人口の減少に伴い祭りの簡素化や後継者不足などが課題となっている。		
関係部等	文化観光スポーツ部、教育庁		

### I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
主な取組		決算見込額	推進状況	活動概要
1	地域の伝統文化継承支援事業	6,188	やや遅れ	○県内各地域で実施されている伝統行事、伝統芸能、しまくとぅばの取組等の情報収集を行ったほか、文化講演を2回実施し、165名に参加頂いた。予定していた沖縄県文化年鑑の作成は、当該事業スケジュールとして、情報収集等の業務を先に行っているため、やや遅れとなった。(1)
2	伝統行事保存継承事業	645	順調	○地域の伝統行事に関する資料収集や、発表機会提供及び記録等の支援を行ったほか、宜野座村が実施する「八月あしび」調査事業等、4件の伝統行事保存継承支援を行った。(2)

### II 成果指標の達成状況 (Do)

#### (1) 成果指標

	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	文化財の指定件数	1,345件 (23年)	1,364件 (24年)	1,400件	19件	—
	状況説明	文化財保護審議会において、新たな県指定文化財の指定や、無形文化財の保持者認定のための審議を行った。平成24年度は、市町村指定12件、国指定7件の指定物件の増加があり、改善幅は19件となった。				

様式2(施策)

(2)参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
伝統文化保存継承支援件数	4件 (22年)	4件 (23年)	4件 (24年)	→	—

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

- ・沖縄県文化年鑑の作成については、多岐に亘る文化財や文化団体等の全体像を把握するため、作業スケジュールとして、まずは情報収集等を行う必要がある。
- ・地域の伝統行事などを掘り起こすため、市町村指定の無形文化財以外の調査が必要である。
- ・限られた予算で効率的に成果を達成するため、文化庁が行う「地域文化遺産を活かした地域活性化事業」等、県予算の支出を伴わない事業の推進を図る必要がある。
- ・地域伝統芸能の重要性を認識してもらうため、各市町村関係団体等へ伝統行事の保存継承支援事業における支援制度等の情報を十分に周知する必要がある。

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

- ・過疎化が進行している地域においては、伝統行事等の継続・継承が困難になってきている。

Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

- ・沖縄県文化年鑑の作成については、作業スケジュールとして、まずは情報収集等の作業を行い、多岐に亘る文化財や文化団体等の全体像を把握した上で、年鑑作成は次年度以降に検討する。
- ・市町村指定の無形文化財以外の調査に向けた取組として、各市町村と調整会議等を開催し、情報提供の依頼や今後の保護活動方針を協議する。
- ・市町村への情報提供として、県主催の研修会等の機会において、保存会等による「地域文化遺産を活かした地域活性化事業」の取組事例を各市町村関係団体等に紹介する等により、伝統行事保存継承事業の実施を促す。